

理事会議事録について

- 1 定款において、理事会に出席した理事及び監事は作成された理事会議事録に記名押印するものとされている。理事会議事録を作成する総務委員会において、各理事及び監事の「記名」をした議事録を作成することから、出席した理事及び監事は議事録への押印をすることになる。押印をする趣旨は、理事会の内容を正確に反映している議事録であることを確認する点にある。

なお、議事録の正確性とは、一言一句が正確に記載されているのかというものではなく、あくまで記録として利用性のため、要点が簡潔に記載され、協議の内容が分かりやすく記載されている書面が求められていることである。

- 2 しかし、現状、議事録への押印は議事録作成後、相当期間を経過しても出席した理事及び監事の押印が揃わない状況が続いている。現に昨年度の理事会議事録の押印も未了であるという現状もある。
- 3 よって、議事録については、出席した代表理事（理事長）及び監事に人数を絞り、これらに議事録の確認作業を徹底させたうえで、同人らの署名押印の手続を採用することで、より議事録の正確性の担保を図るべきである。

以上